



# れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112(代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> / 発行日 2015年12月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

## メディカルツーリズム



健康管理センター部長 荒屋 宣子

病院改修工事で健康管理科が新しいスペースへ移動し、“健診センター”となってから、もう5か月が過ぎました。東側が全面窓なので非常に明るく、晴れた日には遠く立山連峰を望めます。先日もドックのリピーターの方から“先生、ずいぶん変わったね。明るくなって、気分もいいちゃ”とお褒めの言葉をいただきました。

さて、“爆買い”という言葉が今年の流行語大賞を受賞しました。実際に“爆買い”に遭遇したことはないのですが、先日ファボーレに、中国人ツアー客用の案内用紙が置かれているのを目にしました。とうとう富山にも“爆買い”の波が訪れているのでしょうか。

中国の方々がMade in Japanとして高く評価しているのは、何も炊飯器や温水便座だけではなく、日本の医療も含まれます。昨今“メディカルツーリズム”という言葉は耳新しくはなくなってきました。先日、ツアー会社から大連からのツアー客が当院の一泊ドックを受診できないかと問い合わせがありました。“ツーリズム”ではありませんが、ここ数年で富山在住のロシア、中国の方がドックを受診されることも増えてきています。

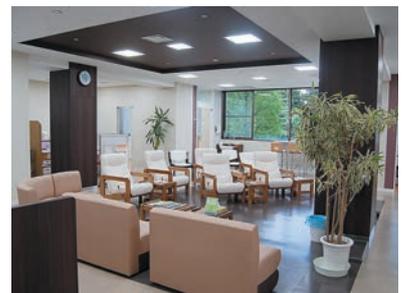
また今年は、富山に住む中国の方が本土から親御さん呼び寄せ、ドックの受診につれていらしたことが数例ありました。しかし日本語のわからない受診者と中国語のわからない医者の間には、当然大きな言葉の壁が立ち上がり、本来自、このような場合は「医療通訳士」といった専門的知識をもった通訳の方が介在するのが理想ですが、当院には残念ながらそのようなシステムはありません。日本に住むお子さんが通訳してくれるのですが、だんだん後のほうになると疲れて面倒くさくなるのか、説明してくれないこともあります。専門用語が分からない場合もあり、絵を描くやら漢字で書くやらで、結果説明に時間がかかり四苦八苦しました。幸い、体の部分を表す言葉は漢字がよく似ていることが多いので、何とか伝わります。例えば「心臓」は「心脏」と書き、発音もよく似ています。「心臓麻痺」などは“しんぞうまひ”と聞こえるくらいです。

ただし、不用意に漢字を用いないほうがいいことも

あるようです。伝わらないのならまだしも、全く意味が違ふこともあります。例えば、「娘」という文字は中国語では“おかあさん”、「愛人」は“配偶者(妻・夫)”のことで、逆に中国語で“奥さん、かみさん”はどんなに若くても「老婆」と書くそうです。下手に使うと、いきなり人間関係が混乱しかねません。「大丈夫」という言葉も全然大丈夫ではなく、中国人にとっては“一人前の男”になってしまいます。

大連からの受診者に備え、せめて最初の「挨拶」くらいは中国語で考えたのですが、そういえば、昔、私の「荒屋」という名前は中国では“あばら家”の意味だよと中国の方に教えられ、いやな気持ちになったことを思い出しました。きっと中国人としては、お世辞にもいい意味とは言えない言葉を姓に使うことを奇異に感じたのでしょう。“あばら家です”と朝から自己紹介するのは避けたいところですが、他の名前もないのでしょうがありません。ちなみに「挨拶」と書くと、中国人には“拷問”という意味になるようですので、とんだ挨拶にならないよう、これも注意が必要です。

9・11以来、入国審査が厳しくなった欧米を避けて、メディカルツーリズムは渡航先がアジア圏へと移ってきています。官民あげて推奨しているタイ、シンガポール、インドが多く、日本はその中では後進国で、まだまだ体制が整っているとは言えません。平成27年1月の時点で富山県の外国人数は約13,000人と人口の1.2%を占めています。小学校、中学校に外国の子供が在籍することが、めずらしくなくなってきました。メディカルツーリズムの是非はともかく、国際化の今、外国の方々にも対応していけるように我々医療従事者も準備していかなければならないのかもしれないかもしれません。



# 研修・講演・勉強会のご案内

1月分

## 1.地域連携・開放型病床症例検討会

※平成28年1月の地域連携・開放型病床症例検討会は都合により中止いたします。  
また、次の開催は、以下の内容で2月9日(火)に予定しています。ご参加をお待ちしております。

### 予告

日時:2月9日(火)19:00~20:15 場所:当院3階 講堂

1) ミニレクチャー「ビスフォスフォネート関連顎骨壊死(BRONJ)について」

歯科口腔外科 寺島 龍一

2) 症例検討(2例) 呼吸器内科・皮膚科の2例を予定しています。

## 2.内科CPC

日時:1月12日(火)17:30~

場所:医局カンファレンス室

## 3.緩和医療委員会 学習会

日時:1月12日(火)17:45~18:45

場所:看護外来

○テーマ 「認知症・せん妄の看護」

○講師 認知症看護認定看護師 高柳 佳忠

## 4.乳腺術後症例検討会

乳腺エコーに携わる検査技師・放射線技師、乳腺外科医師、病理医師、放射線科医師、院外参加希望の方のご参加お待ちしております。

日時:1月14日(木)16:00~17:00

場所:2階 病理検査室

○内容 前々月の手術症例の病理組織結果、エコー所見、マンモグラフィー所見の比較検討

※日時が変更になる場合がありますので、参加希望の方は事前に病理検査室にご連絡ください。

(富山市民病院TEL422-1112(代)内線2248)

## 5.褥瘡対策学習会

日時:1月22日(金)17:45~

場所:集団指導室

○テーマ 「褥瘡対策用具の選び方」

○講師 看護師 大島 倫子

## 6.NST学習会

日時:1月25日(月)18:00~19:00

場所:講堂

○テーマ 「低栄養と栄養マネジメント」

○講師 公立松任石川病院医師 石井 要先生

## 7.接遇力向上講演会

日時:1月27日(水)17:30~19:00

場所:講堂

○テーマ 「医療・看護の現場に必要なレジリエンスとは  
~折れない心で働きやすい職場を、そして医療安全へ~」

○講師 当院接遇向上委員長 置塩 良政

## 予告 体験学習 接遇力向上研修会

テーマ:「医療・看護の現場に必要なレジリエンスとは  
~折れない心で働きやすい職場を、そして医療安全へ~」

講師:当院接遇向上委員長 置塩 良政

日時:第1回 2月12日(金)13:15~16:00

第2回 3月 2日(水)13:15~16:00

場所:講堂

## 8.睦美会 看護講演

日時:1月29日(金)17:30~19:00

場所:講堂

○テーマ 「看護に活かすナラティブアプローチ」

○講師 立命館大学大学院教授 齋藤 清二先生

## 9.看護研修

### 《衛星研修S-QUE Eナース》

日時:1月6日(水)17:40~18:40

場所:集団指導室

○テーマ:「実践!QOLを改善する栄養管理」

日時:1月20日(水)17:40~18:40

場所:集団指導室

○テーマ:「チームで楽しく行う看護研究の極意」

### 《衛生研修S-QUE 特別企画》

日時:1月29日(金)17:00~18:30

場所:集団指導室

○テーマ:「医療の安全に関する研修医療安全とメディア  
エーション」



病院ボランティア  
篠崎 佳子

## 研修医のひとりごと



臨床研修医  
松永 祐己

はじめまして。研修医1年目の松永祐己です。富山市民病院で2年間お世話になります。学生のとくに1ヶ月間実習でお世話になり、とても雰囲気の良い市民病院にマッチングを受け入れて頂き、無事に今年の4月から研修をしています。市民病院のスタッフの方々には日々いろいろと御指導して頂きとても感謝しています。

研修についてですが、指導医の先生方がいらっしゃいますが、自分が責任を持ち患者さんを診察するというのに、学生とは違い医師として診療行為をしていると実感しています。患者さんの不利益にならないよう努力していますが、もっとこうすればよかったと後から反省することも多々あります。また、病棟や救急で死に直面するたびに、医療の限界があるとはいえ、患者さんのためにもっと出来ることはなかったのかと感じるとともに、次に必ず活かさなくてはと決意しています。

研修医期間の1/4が終わり、今年の4月に比べると成長出来た実感と、残り3/4でもっと経験をつまなくてはという焦りと熱意を感じています。たくさんの方を経験し学んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

## 医師不在のお知らせ ※外来担当日の休診のみ掲載

1月分

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	林	25日~29日	健康管理科	荒屋	18日
	藁内	15日、18日	整形外科・ 関節再建外科	澤口	5日、15日、22日
	寺崎靖	29日		坂越	5日
	芝	12日	眼科	藤井	29日
	小川	8日	精神科	長谷川	29日
	寺村	27日		伊東	18日
外科・消化器外科・ 乳腺外科	吉川	5日	脳神経外科	中尾	15日
	寺田	15日			
	丸銭	15日			

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

## 編集後記

こんにちは！寒い季節ですが、みなさん風邪をひいたりしていませんか？私は少し風邪気味ですが、風邪の予防にはまず食べものからということで、インターネットを覗いてみました。

ビタミンC：免疫を高める、いちご、みかん、キウイフルーツ、ブロッコリー、ほうれん草等に多く含まれているようです。

ビタミンA：のどや鼻などの粘膜を保護する、ほうれん草、人参、カボチャなどの緑黄色野菜、うなぎ、チーズなど。

ん？ほうれん草が両方に載っている。今年の冬はほうれん草を食べて乗りきることにしよう。

今年は暖冬と言われていますが、みなさんもいろいろ風邪を予防法があるとは思っていますので、実践して今冬を乗りきっていきましょう!!

薬剤科 藤井 浩司



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154  
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp